

# 下鴨神社 奉納舞

2018年

4月1日 [日]

午後1時より正式参拝

午後1時半より奉納

下鴨神社 橋殿

京都市左京区下鴨泉川町59

奉納舞の御観覧は、

予約不要、無料です

## 春の奉納舞と演奏

一、上方歌

「京の四季」

若柳志寿・花崎社季女

Kamigata-uta *Four Seasons of Kyoto* Shizu Wakayagi and Tokiyo Hanasaki

二、地歌

「万歳」

花崎社季女

Juta *Manzai* Tokiyo Hanasaki

三、上方歌

「御所のお庭」

井上満智子(三絃)・松島弘美(歌)・大濱邦子(歌)

Kamigata-uta *Palace Garden* Machiko Inoue (shamisen), Hiromi Matsushima (song), Kuniko Ohama (song)

四、地歌

「茶音頭」

若柳志寿

Juta *Rhythm of Tea* Shizu Wakayagi

地方 井上満智子(三絃)・松島弘美(歌)・大濱邦子(歌)・箏

Musicians: Machiko Inoue (shamisen), Hiromi Matsushima (song), Kuniko Ohama (song, koto)

Dedication of Dance and Music *for the coming of Spring*

April 1, 2018 (Sun) 1:30 PM at *Hashiden* in Shimogamo Shrine

59 Izumigawa-cho, Shimogamo, Sakyo-ku, Kyoto 606-0807, Kyoto Prefecture

It is a *free event*, and no need of reservations.

# 下鴨神社奉納舞 春の奉納舞と演奏

場所 下鴨神社橋殿  
京都市左京区下鴨泉川町五十九

2018年4月1日「日」

午後1時より正式参拝  
午後1時半より奉納

日本舞踊は、大きく、東京の歌舞伎舞踊を中心とする踊りと、京都大阪「上方」の座敷舞「地歌舞」を中心とする舞いに大別されます。互いに影響を受けながら発展してまいりましたので、重なる部分もございます。このたび奉納させていただきます、若柳志寿「わかやぎ・しま」の流派は、歌舞伎舞踊の流れをくむ正派若柳流、もう一方の花崎社季女「はなざき・ときじよ」は、東京の地歌舞を自負しております流派でございます。

日本舞踊のこれからを見据えるために、古来より、神に捧げる祈りの芸能として発展してまいりました、その舞踊の原点に立ち返り、流派の異なる二人の舞踊家、そして大阪から馳せ参りてくださる三人の地方「かたが、奉納のためにより集い、ここに「春の奉納舞と演奏」を捧げさせていただきます。二人の舞踊家が、それぞれ異なる流派の型で舞わせていただく「京の四季」、新しい年に福が来たることを祈る「万歳」、大阪南地の味わいを継ぐ地方三名による「御所のお庭」、そしてお茶の道具やお手前に寄せて女心をうたった「茶音頭」、など、見どころ沢山の内容となっております。

数千年の歴史を持つ下鴨神社において、このような機会をいただきましたことを心より感謝申し上げますとともに、この場に集ってくださいましたお客様に、日本の伝統芸能の醍醐味を感じていただけましたら、これにまさる喜びはございません。

## 【演目】

- 一、上方歌 「京の四季」 若柳志寿・花崎社季女
- 二、地歌 「万歳」 花崎社季女
- 三、上方歌 「御所のお庭」 井上満智子(三絃)・松島弘美(歌)・大濱邦子(歌)
- 四、地歌 「茶音頭」 若柳志寿

地方 井上満智子(三絃)  
松島弘美(歌)  
大濱邦子(歌・箏)

## 【解説】

### 京の四季

●東山の夜桜、八坂神社内にあった二軒の茶屋で出す田楽豆腐、夏の鴨川の夕涼み、知恩院の忘れ傘、長楽寺の紅葉、円山の雪景色、顔見世の櫓など、京の四季の風趣が詠み込まれている。曲調は明るく、音頭風の囃子が入り、にぎやかである。

### 万歳

●万歳とは、正月などにまわってくる「三河万歳」もと「千秋万歳」といって宮中で行われていた。そうした色々の万歳歌をつなぎ合わせて歌詞とした。にぎやかな旋律で、義太夫節その他の三味線音楽に「万歳物」として色々に取り入れられている。

### 御所のお庭

●京都御所の紫宸殿南階下の西方に植えられた右近の橘と、東方に植えられた左近の桜について、右大臣左大臣、緋袴の官女といった雛祭りのイメージへとうつり、その後一転して雪の場面。最後は渡辺綱の鬼退治である。

### 茶音頭

●茶の湯の事物に寄せて男女の感情を歌った内容。「花は吉野山、紅葉は龍田」と名所を並べ、「茶は宇治」を読み出し、「都の辰巳」と古歌を思わせる。「辰巳」から一転して「廓は都の未申」と島原の世界があでやかに描かれるが、それらもすべて茶の湯の言葉にかけるなど、奥ゆかしさと色の濃いツヤが織り交ぜて歌われる。

## 【演者】

●若柳志寿 わかやぎしず  
日本舞踊の五大流派の一つ、正派若柳流の名取。京都は岩倉および紫野にて、日本舞踊教室を主宰。

●花崎社季女 はなざきときじよ  
地唄舞花崎流家元、一般社団法人地唄舞普及協会代表理事

●井上満智子 いのうえまらこ 三絃  
大阪南地の芸妓であった上村和歌子に師事、師の相三味線を長く務める。現在は、東西の舞の会にて、地方として活動。

●松島弘美 まつしまひろみ 歌  
上村和歌子に師事、現在は東西の舞の会にて、地方として活動。

●大濱邦子 おおはまくにこ 歌・箏  
上村和歌子に師事、現在は東西の舞の会にて、地方として活動。



## 【お問い合わせ先】

若柳志寿  
080-3958-1369 / 075-754-8331  
shizuwakayagi@yahoo.co.jp